



日本獣医師会学会関係情報



日本産業動物獣医学会・日本小動物獣医学会・日本獣医公衆衛生学会

----- 日本獣医師会学会からのお知らせ -----

第41回 世界獣医師会大会 2026（東京大会）の開催について

令和8年4月21日（火）～24日（金）の4日間、東京国際フォーラムにて第41回世界獣医師会大会が開催されます。この世界獣医師会大会では、学術プログラムを中心に、来場者の皆さまに楽しんでいただけるような多くの企画を予定しています。企業の皆様などのご出展によるブースが集まったホールでのイベント等はその醍醐味のひとつとなるでしょう。本号では全体の概要とともに、一部の企画についてご紹介いたします。

「ワンヘルスで世界の獣医療が示す未来」をテーマに、多くの先生のご協力をいただいで魅力的なプログラムができあがりました。ご覧のとおり、最先端の臨床獣医学から、AMR、伝染性疾病、アニマルウェルフェア、災害や環境に関連した課題、飼い主の健康も含むワンヘルスなど、現在の獣医療を取り巻く最先端の問題を包括的に扱う予定としています（42頁「大会プログラム」参照）。

【参加登録のご案内】

チケット価格は下記のとおりです。会員獣医師の皆さまの地方獣医師会を通じた登録につきましては、ご所属の地方獣医師会にご相談ください。

登録手続きの手順等については公式ウェブサイト (<https://wvac2026-tokyo.com/registration.html>) をご参照ください。

【お問い合わせ先】

●大会全般に関するお問い合わせ先

公益社団法人 日本獣医師会事務局

(担当：塚本、福田、宮崎)

〒107-0062

港区南青山1-1-1 新青山ビル西館23階

電話：03-3475-1601 (代表)

E-mail：office_jvma@nichiju.or.jp

●参加登録に関するお問い合わせ先

WVAC2026 参加登録デスク

(日本コンベンションサービス(株)内)

E-mail：wvac2026-reg@convention.co.jp

【演題申し込みのご案内】

一般口演及びポスター発表を公式ウェブサイトにて募集しています。各セッションのテーマや応募様式などについては公式ウェブサイト (<https://wvac2026-tokyo.com/program.html>) をご覧ください。

年次大会に関する一般演題等もこちらのサイトからの登録となります。

国内向けチケット価格設定		(税込：消費税10%)	
分類	超早割 (2026年 1月末まで)	早割 (2026年 2月末まで)	当日
会員獣医師	52,800	70,400	88,000
非会員獣医師	79,200	105,600	132,000
愛玩動物看護師等	5,280	7,040	8,800
学生	3,300	4,400	5,500
同行者(入場のみ)	1,100	1,100	1,100
1 日 券	会員獣医師		33,000
	非会員獣医師		49,500
	愛玩動物 看護師等		3,300
	学生		2,200

JVMA 企画

※プログラムは都合により変更となることがあります。

	時間	会場	内容	演者
1日目：4月21日（火）				
午前				
1	10:00～11:00	ホールA	開会式	
2	11:00～12:00	ホールA	基調講演	喜田 宏（北海道大学ユニバーシティプロフェッサー）
午後				
3	12:00～	ホールE	イベントホール開場	
4	13:00～16:00	ホールA	スポーツとワンヘルス（仮）	渡辺守成（世界体操協会会長）
5	16:00～18:00	ホールC	小動物臨床	石田卓夫（WASAVA 会長）
6	13:00～18:00	ホールD1	アジアの地域の次世代を担う獣医師	日本獣医師会
7	18:00～	ホールE	ウェルカム・レセプション	
2日目：4月22日（水）				
1	13:00～18:00	ホールC	愛玩動物看護（協力：ヤマザキ学園）	スーザン・ドリーガー
2	13:00～18:00	ホールD1	都市開発と野生動物（仮）	調整中
3日目：4月23日（木）				
1	9:00～12:00	ホールB7	ペットと飼い主の健康 Thank you buddy (1)	上野弘道 （東京都獣医師会会長）
2	9:00～12:00 13:00～18:00	G402	災害獣医療	平井順子（アナイス、東京都獣医師会参与）
3	9:00～12:00	ホールD1	ジェンダー・ハンディキャップを超えて	WOAH アジア太平洋地域事務所
4	13:00～18:00	ホールD1	ペットと飼い主の健康 Thank you buddy (2)	上野弘道 （東京都獣医師会会長）
5	18:00～21:00	ホールB7	オフィシャルディナー	
4日目：4月24日（金）				
1	9:00～12:00	ホールB5	市民講座 「ワンヘルスで世界の獣医療が示す未来」	堀内基夫（北海道大学教授）
2	13:00～18:00	ホールD1	日台韓 東アジアサミット	日本獣医師会 等
3	12:00～13:00	ホールC	閉会式	

大会プログラム (11月末現在)

	開会式会場	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場
	ホールA 3,000名	ホールC 1,502名	ホールB5 480名	ホールB7-1 306名	ホールB7-2 306名	ホールD5 200名	ホールD7 240名
4月21日 (火)							
8:00	受付						
9:00							
10:00	開会式						
11:00	基調講演						
12:00	ランチョンセミナー等						
13:00	JVMA企画① 【スポーツ】			プログラム3-1 【Vector borne diseases:感 染症生態学の視点から】	プログラム4-1 【小動物のアニマルウェルフェ ア】	プログラム5-1 WVA総会	プログラム6-1 【最新牛輸液療法】
14:00		JVMA企画② 【小動物臨床】					
15:00							
16:00							
17:00							
18:00							
19:00							
20:00							
4月22日 (水)							
8:00	受付						
9:00			プログラム2-2 【先端臨床獣医学】 獣医領域における個別化 診療	プログラム3-2 【豚の越境性感染症の現状と その制御戦略】	プログラム4-2 【臨床領域と病理領域における AIデータサイエンスの活用】	プログラム5-2 WVA ワンヘルスサミット	プログラム6-2 【牛呼吸器疾患 (シンポジウム)】
10:00							
11:00							
12:00	ランチョンセミナー等						
13:00	JVMA企画④ 【愛玩動物看護】	プログラム2-3 (1) 【先端臨床獣医学】 心血管領域の革新	プログラム3-3 【反芻家畜の越境性感染症の 現状とその制御戦略】	プログラム4-3 (1) 【感染症領域におけるAIデータ サイエンスの活用】	プログラム5-3 WVA ワンヘルスサミット	プログラム6-3 (1) 【子牛の軟部外科の最前線】	プログラム6-3 (2) 【乳牛の健康を守る新しいパラ ダイム】
14:00		プログラム2-3 (2) 【先端臨床獣医学】 ロボット手術		プログラム4-3 (2) 【飼育衛生管理におけるAIデー タサイエンスの活用】	WVA ペテリナリーアワード		
15:00							
16:00							
17:00							
18:00							
19:00							
4月23日 (木)							
8:00	受付						
9:00		プログラム2-4 【先進的再生医療の現状と臨床応用に向けた 課題】		JVMA企画⑦-1 ペットと飼主の健康		プログラム5-4 WVA アニマルウェルフェア セミナー	プログラム6-4 【豚熱とアフリカ豚熱に対する ワクチン戦略の現状と未来】
10:00							
11:00							
12:00	ランチョンセミナー等						
13:00	プログラム1-5 【伴侶動物臨床：動物の健康と福祉シ ンポジウム】	プログラム2-5 【外来種による感染症の潜在的リスク】		準備	プログラム5-5 WVA 獣医学教育セミナー	プログラム6-5 (1) 【ワンヘルスの視点からみた薬 剤耐性】(シンポジウム)	プログラム6-5 (2) 【水産動物におけるAMR：ワ ンウォーターの視点から】
14:00							
15:00							
16:00							
17:00							
18:00							
19:00							
20:00				オフィシャルディナー			
21:00							
4月24日 (金)							
8:00	受付						
9:00		準備	市民講座 【ワンヘルス】		プログラム4-6 【哺乳類に対する鳥インフルエ ンザの新たな脅威】	プログラム5-6 【野生動物のサーベイランスと 疾病生態学】	プログラム6-6 【ワンヘルスによる薬剤耐性へ の取組】
10:00							
11:00							
12:00							
13:00							
14:00							
15:00		閉会式					

第7会場	第8会場	第9会場	第10会場	第11会場	第12会場	ホール
G502	G402	G409	G602	G701	ホールD1	ホールE
130名	130名	130名	168名	190名	140名	5000㎡

						オープニング
プログラム7-1 【獣医学教育改革への挑戦 米国における獣医臨床教育】	プログラム8-1 変わりゆく世界における Onehealth	プログラム9-1 年次大会（小動物） 地区学会賞受賞講演	プログラム10-1 年次大会（公衆衛生） 教育講演 地区学会賞受賞講演	プログラム11-1 年次大会（産業動物） 地区学会賞受賞講演	JVMA企画③ 【アジア若手獣医師】	ブース・イベント ポスター発表など

						ウェルカム レセプション

プログラム7-2 【獣医学教育改革への挑戦 ス キルズラボを活用した教育の意 義と効果】	プログラム8-2 【産業動物のアニマル ウェルフェア】	プログラム9-2 年次大会（小動物） シンポジウム	プログラム10-2 年次大会（公衆衛生） シンポジウム	プログラム11-2 年次大会（産業動物） シンポジウム	JVMA企画⑤ AAVS/FAVA 【教育】	ブース・イベント ポスター発表など
プログラム7-3 【獣医学教育の国際化 アジアの 獣医学教育を世界水準に向上さ せる取組み】		プログラム9-3 年次大会（小動物） シンポジウム	プログラム10-3 年次大会（公衆衛生） シンポジウム	プログラム11-3 年次大会（産業動物） シンポジウム	JVMA企画⑥ 【都市開発と野生動物】	

プログラム7-4 【法獣医学の発展】	JVMA企画⑧-1 【災害獣医療】	プログラム9-4 年次大会（小動物） シンポジウム	プログラム10-4 年次大会（公衆衛生） シンポジウム	プログラム11-4 年次大会（産業動物） シンポジウム	JVMA企画⑨ 【ジェンダー、ハンディ キャップ】	ブース・イベント ポスター発表など
プログラム7-5 【新興・再興脅威としてのコウ モリ媒介感染症】	JVMA企画⑧-2 【災害獣医療】	プログラム9-5 年次大会（小動物） シンポジウム	プログラム10-5 年次大会（公衆衛生） 一般講演	プログラム11-5 年次大会（産業動物） 一般講演	JVMA企画⑦-2 【ペットと飼い主の健 康】	

プログラム7-6 【シェルター獣医療】	JVMA企画⑩ AAVS(仮)	プログラム9-6 年次大会（小動物） シンポジウム	プログラム9-6 年次大会（公衆衛生） 研究報告	プログラム11-6 年次大会（産業動物） 研究報告	JVMA企画⑪ 【東アジアサミット】 日台韓	ブース・イベント ポスター発表など
------------------------	--------------------	---------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	------------------------------	----------------------

第43回 日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (令和7年度) の開催について

令和7年度の日本獣医師会獣医学術学会年次大会につきましては、令和8年4月21日(火)～24日(金)の4日間、東京国際フォーラムにて開催する第41回世界獣医師会大会2026(東京大会)の会期中に合同開催されます。本号では特別企画の概要をお知らせいたします。

特別企画 (令和7年11月28日 現在)

日本産業動物獣医学会

シンポジウム「乳牛群における繁殖管理と生産支援」

4月22日(水) 9:00～12:00 第11会場 (G701)

座長：未定

	講演内容	氏名	所属
1	乳牛群における繁殖管理と生産支援(総論)	北原 豪	宮崎大学
2	疾病抵抗性の遺伝的能力評価	馬場 俊見	(一社)日本ホルスタイン登録協会北海道支部
3	繁殖管理の実際	奥 啓輔	(株)トータルハードマネージメントサービス
4	ET技術を活用した生産支援の実際	森重 大作	(株)渥美牛群管理サービス

乳牛農場管理認定獣医師：動物種プログラムの a) b) c) に該当

シンポジウム「肉牛群における呼吸器疾患対策」

4月22日(水) 13:00～17:00 第11会場 (G701)

座長：未定

	講演内容	氏名	所属
1	肉牛群における呼吸器疾患対策(総論)	乙丸孝之介	鹿児島大学
2	超音波画像診断	前田 洋佑	北里大学
3	治療と予防対策(ワクチネーション)	乙丸孝之介	鹿児島大学
4	超音波画像診断実施上の課題	叶 有斗	鹿児島県農業共済組合

肉牛農場管理認定獣医師：動物種プログラムの a) e) に該当

シンポジウム「豚群における繁殖管理、衛生管理と AMR 対策」

4月23日(木) 9:00～12:00 第11会場 (G701)

座長：未定

	講演内容	氏名	所属
1	豚群における繁殖管理	武田 浩輝	(有)アークベテリナリーサービス
2	衛生管理の実際	高橋佐和子	高橋とんとん診療所
3	AMR 対策の実際	伊藤 貢	あかばね動物クリニック
4	繁殖・衛生管理指導の実際	渡部 佑悟	FAITES

豚農場管理認定獣医師：動物種プログラムの d) e) に該当

日本小動物獣医学会**シンポジウム「チーム獣医療 —肥満の動物を考える」**

4月22日(水) 9:00～12:00 第9会場 (G409)

座長：佐藤れえ子 (岩手大学名誉教授)

	講演内容	氏名	所属
1	チーム獣医療の現在地	山下真理子	(一社)日本愛玩動物看護師会
2	肥満の獣医学 —獣医師の立場から—	石岡 克己	(一社)日本動物看護学会
3	減量指導 —愛玩動物看護師の立場から—	小田 民美	(一社)日本動物看護学会

教育講演「失敗しない外科手術シリーズ 前十字靭帯断裂」

4月22日(水) 13:00～14:30 第9会場 (G409)

座長：未定

	講演内容	氏名	所属
	ここだけはおさえておきたい 診断・治療・術後管理	藤田 幸弘	麻布大学

シンポジウム「動物の口腔内黒色腫 (メラノーマ) の治療を考える」

4月22日(水) 15:00～17:00 第9会場 (G409)

座長：野口 俊助 (日本動物高度医療センター), 高橋 雅 (鹿児島大学)

	講演内容	氏名	所属
1	外科療法	中川 貴之	東京大学
2	化学療法	古家 優	大阪公立大学
3	免疫療法	水野 拓也	山口大学
4	放射線療法	和田 悠佑	日本動物高度医療センター

シンポジウム「人獣共通感染症」—病院スタッフと飼い主を感染症から守るためにはどうすれば良いか?—

1 「SFTS シンポジウム」—増加する動物病院スタッフの感染・飼い主の感染を防ぐには—

4月23日(木) 9:00~11:50 第9会場 (G409)

座長：前田 健 (国立感染症研究所), 村田 佳輝 (むらた動物病院・東京農工大学)

	講演内容	氏名	所属
1	SFTSの実態と今後 (SFTSVの迅速検査について) を考える	前田 健	国立感染症研究所
2	感染性物質 (SFTSを疑う材料) の輸送法	河相 泰洋	国立感染症研究所
3	流行地でのヒト感染の実態と取り組み	山中 篤志	宮崎県立宮崎病院
4	流行地での動物感染の実態・スタッフの感染を考える	松本 泰和	益田ペットクリニック
5	流行地での動物感染現場での対応と今後を考える	白永 伸行	シラナガ動物病院
6	討 論		

2 「レプトスピラ症シンポジウム」—我が国で増加しているレプトスピラ症の今後を考える—

4月23日(木) 13:00~15:00 第9会場 (G409)

座長：小泉 信夫 (国立感染症研究所)

	講演内容	氏名	所属
1	人レプトスピラ症の実態	小泉 信夫	国立感染症研究所
2	犬レプトスピラ症の実態 (多発地域沖縄での実態)	土城 勝彦	たまよせ動物病院
3	犬レプトスピラ症の検査・予防と未来	栗田 吾郎	北里大学大村智記念研究所
4	討 論		

3 「身近で危険な人獣共通感染症シンポジウム」—感染症から身を守るには—

4月23日(木) 15:10~17:00 第9会場 (G409)

座長：鈴木 道雄 (国立感染症研究所)

	講演内容	氏名	所属
1	危険な咬傷・接触感染症の実態・対策	鈴木 道雄	国立感染症研究所
2	危険なクラミジア属感染症の実態	オブライエン 悠木子	東京農工大学
3	病理医の立場から見た危険な人獣共通感染症	宇根 有美	どうぶつ疾病研究支援協会
4	討 論		

シンポジウム「診断から手術、そして視覚の回復へ — 獣医眼科の進化形」

4月24日(金) 9:00～12:00 第9会場 (G409)

座長：福島 潮 (湘南鎌倉動物病院 動物眼科センター)

	講演内容	氏名	所属
1	白内障 — 水晶体破囊およびチン小帯脆弱の外科的マネジメント	小林 義崇	東京動物眼科醫院
2	緑内障 — 適切な眼圧コントロールのための外科治療の導入	太田 充治	動物眼科センター
3	網膜剥離 — 視覚を守るための外科的チャレンジ	梅田 裕祥	横浜どうぶつ眼科
4	眼科手術の成否を決めるのは診断か器具か？ 診断技術と手術装置の進化	福島 潮	湘南鎌倉動物病院 動物眼科センター
5	総合討論・総合質疑		

日本獣医公衆衛生学会

教育講演「忘れないで！ 狂犬病」

4月21日(火) 13:00～17:00 (地区学会長賞講演の前に1時間) 第10会場 (G602)

座長：猪島 康雄 (岐阜大学)

	講演内容	氏名	所属
1	留学中の動物咬傷と狂犬病予防 — 体験を通して学んだワクチン接種の重要性	オブライエン 悠木子	東京農工大学
2	宮崎大学が実施する自治体公衆衛生獣医師等を対象とした狂犬病診断研修会の紹介	山田健太郎	宮崎大学

シンポジウム「注目されつつある食中毒の病因物質」

4月22日(水) 9:00～12:00 第10会場 (G602)

座長：大屋 賢司 (国立医薬品食品衛生研究所), 壁谷 英則 (日本大学)

	講演内容	氏名	所属
1	非定型大腸菌	伊豫田 淳	国立感染症研究所
2	リステリア・モノサイトゲネス	岡田由美子	国立医薬品食品衛生研究所
3	<i>Staphylococcus argenteus</i>	若林 友騎	大阪健康安全基盤研究所
4	サポウイルス	岡 智一郎	国立医薬品食品衛生研究所
5	住肉胞子虫	山崎 朗子	宮崎大学

シンポジウム「牛肉輸出から見えてきたもの」

4月22日(水) 13:00～16:00 第10会場 (G602)

座長：森田 幸雄 (麻布大学)

	講演内容	氏名	所属
1	日本の畜産物の輸出戦略 (仮)	藤野 哲也	(一社)日本畜産物輸出促進協会
2	食肉センターの衛生管理指導 (仮)	道野 英司	(公社)日本食品衛生協会
3	対EU・対米牛肉輸出施設の衛生管理の実践状況 (仮)	川久 通隆	和牛マスター(株)
4	食肉処理施設の衛生管理における遺伝子技術の活用 (仮)	菊池 貴子	スターゼン(株)

シンポジウム「ヒトに密接に関与する野生鳥獣の現状と課題」

4月23日(木) 9:00～12:00 第10会場 (G602)

座長：石岡 大成 (高崎健康福祉大学)

	講演内容	氏名	所属
1	わが国における野生鳥獣による被害状況	未定	農林水産省 農村政策部鳥獣対策・農村環境課
2	野生鳥獣の捕獲，解体に係わる狩猟の実際	高柳 盛芳	群馬県猟友会
3	ダニ媒介感染症の実態および感染予防	貞升 健志	東京都健康安全研究センター
4	ジビエを介した食中毒事例および対策	森吉 美樹	厚生労働省 健康・生活衛生局 食品監視安全課

一般申込演題〈一般講演(未発表演題)，研究報告(既発表演題)〉の募集について
【産業動物及び公衆衛生分野のみの募集】

「第43回日本獣医師会獣医学術学会年次大会(令和7年度)」の一般講演(未発表演題)，研究報告(既発表演題)を募集しています。なお，今次年次大会では，**産業動物及び公衆衛生分野のみの募集**となっています。

【募集期間】

令和8年1月19日(月)まで

【発表者の資格】

発表者・共同発表者とも獣医師会会員・会員外を問わない。

【募集方法】

演題要旨の投稿は Confit というポータルを通して実施

登録サイト：<https://wvac.confite.atlas.jp/login>

【注意事項等】

- ・申込者へは発表日時，講演会場等に関する情報がメールにて通知されます。
- ・論文が採択された講演者は必ず事前参加登録手続きを行ってください。

参加登録先：<https://wvac2026-tokyo.com/registration.html>

【問い合わせ先】 Secretariat of 41st World Veterinary Association Congress (WVAC)
E-mail：paper-wvac2026@senkyo.co.jp